

「ゆらめく立涌文様」展

川島織物文化館 2024年1月19日（金）～11月29日（金）



帯地 正絵（図案）「春秋立涌」（明治後期～大正期）

株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：光岡 朗）は、本社併設の川島織物文化館（京都市左京区）で、「ゆらめく立涌文様」展を1月19日（金）より開催します。本展では、吉祥文様のひとつである「立涌文様」を取り上げ、その豊かな表現や時代の流行にみる、立涌文様のゆらめく世界をご紹介します。

立涌文様は、並列する2本の線の中央がふくらみ、両端が細くなった形を雲気（水蒸気）が立ち上がる状態に見立てた文様のことです。そこから、運氣上昇の意味が込められ、縁起の良い文様とされています。新年の幕開けを祝い、本年がよりよい年になることを祈念して、当館所蔵の明治～昭和期の図案や試織から、選りすぐりの立涌文様を65点展示します。

立涌文様の起源は、古代オリエントまでさかのぼり、蔓性植物の忍冬や葡萄唐草の文様が、波打ちながら横に連なり、それが縦に変容したと言われています。その後、その文様が日本に伝わると、立涌文様となり、当社でも帯や、室内装飾織物で唐草や雲、波頭、花鳥などさまざまなモチーフと掛け合わせた

多様な表現の立涌文様が次々と生み出されていきました。1930年代には、昭和モダンと称された生活様式に合わせ、巧みにアレンジした立涌文様も生まれました。

本展では、立涌文様の豊かな表現や時代の流行にみる、ゆらめく世界をお楽しみいただけます。ぜひこの機会に当館へお越しください。

開催概要

タイトル：「ゆらめく立涌文様」

会期：2024年1月19日（金）～11月29日（金）

場所：川島織物文化館（京都市左京区静海市原町265）

休館日：土・日・祝祭日、夏期、年末年始

川島織物セルコン休業日

入館料：無料

※ ご見学は事前予約制です。見学をご希望の方は、あらかじめインターネットでのご予約をお願いします。

詳細はホームページをご確認ください。

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

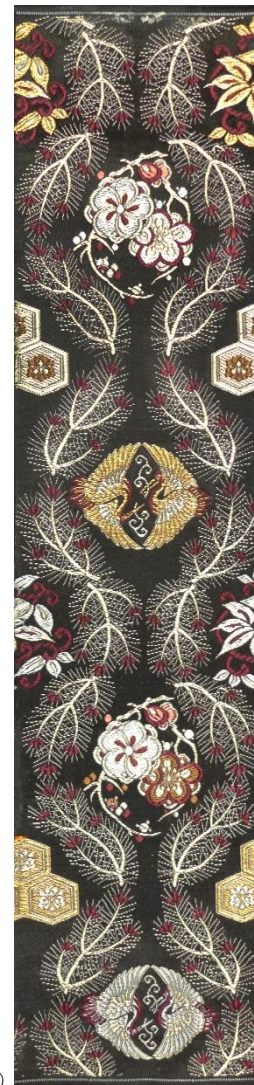
■ 主な展示作品



①



②



③



④



⑤



⑥

- ①帯地 正絵（図案）「波立涌龍の丸」（大正期）
- ②帯地 見本裂「赤地菊立涌」（大正期）
- ③装飾裂地「松立涌亀甲」（大正期）
- ④帯地 正絵（図案）「春秋立涌」（明治後期～大正期）
- ⑤装飾裂地「藤立涌花菱」（昭和初期）
- ⑥装飾裂地「雪輪立涌」（明治後期～大正期）

■川島織物文化館 概要

1889（明治 22）年に二代川島甚兵衛が京都・三条高倉に建てた三階建ての洋館「織物参考館」に始まる国内最古の企業博物館。初代・二代 川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類、製作してきた原画類・試織など、織物に関する貴重な資料を保管しています。館内では、これらの史資料や当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のごだわりのモノづくりを紹介しています。



所在地：〒601-1192 京都市左京区静海市原町 265

株式会社川島織物セルコン内

TEL：075-741-4120

開館時間：午前 10 時～午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）

休館日：土、日、祝祭日、夏期・年末年始（川島織物セルコン休業日）

入館料：無料

見学予約：見学は事前予約制

見学をご希望の方は、あらかじめインターネットでのご予約をお願いします。

ご利用案内 <https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/use/>

ご見学予約 <https://outlook.office365.com/owa/calendar/Bookings@ksc.kyoto/bookings/s/iYJ4Q8tLSE6DFzWmH7GkTw2>

見学希望日の前日(※)までに、お申込みください。

※月曜日ご来館希望の場合は前週金曜日

ホームページ：<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

- アクセス：
- 地下鉄 烏丸線「国際会館」駅より
 - ・京都バス（50/52 系統）「小町寺」下車 徒歩約 5 分
 - ・タクシー 約 10 分
 - 叡山電車 鞍馬線「市原」駅下車 徒歩約 7 分
 - 京都駅より タクシーで約 40 分



見学予約ページ

